

リニア駅前広場の利活用に向けた取組の報告について

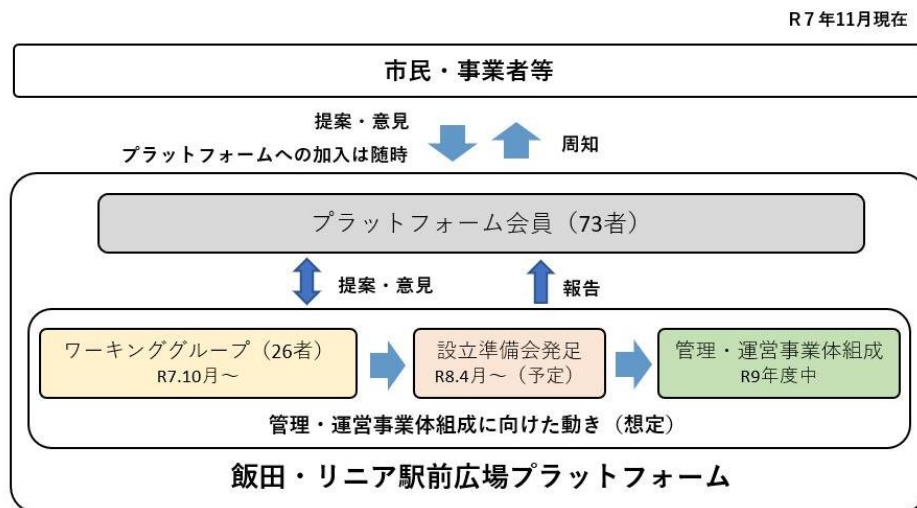
リニア推進部リニア整備課

1 駅前広場の利活用における飯田市の方針

- 飯田・リニア駅前空間デザインノートの考え方を踏まえた視点
- 飯田・リニア駅前広場プラットフォームで大切にしている以下の3つの視点
 - ・駅前広場の賑わい創出
 - ・地域経済の好循環
 - ・まち全体を見る中で駅前広場が持つべき機能
- 飯田・リニア駅前広場を核としてまちの付加価値が上がっていくという視点

2 プラットフォームへの参加状況

- ・プラットフォームへの登録は73者で、そのうちワーキンググループへの参加 26者
- ・ワーキンググループは、管理運営事業体として参加の意向がある事業者で構成



3 ワーキンググループでの検討状況

(1) 発足説明会 令和7年 9月 8日(月) 15:00～17:00

- ・ワーキンググループへの参加事業者は事業への関与の度合いに応じてワーキンググループに参加。

(R7.11月現在)

ワーキング名	ワーキンググループの概要	参加数
中核推進 WG	駅前広場の経営に深く関わり、様々な事業を主体的に計画していくグループ ➤ 事業体の中心となる企業・団体の代表者等で構成	6者
個別事業 WG	自分の得意分野(業態等)を活かして、広場で行うサービスやイベントを企画・運営するグループ ➤ 飲食や物販、イベントの運営に関わる事業者や市民等で構成	8者
協力支援 WG	出資や商品の提供、情報発信などで、事業を応援していただくグループ ➤ スポンサー、商品の提供者、情報発信を担う方などで構成	12者

(2) 中核推進ワーキンググループの検討状況

ア 開催日時

- ・第1回 令和7年10月3日(金) 14:00～16:00
- ・第2回 令和7年10月29日(水) 15:30～17:30
- ・第3回 令和7年11月26日(水) 10:00～12:00

中核推進WGは、今年度中に5回程度の開催を予定

イ ワーキンググループでの主な検討事項

- ・管理運営事業体の理念・基本方針の検討
- ・一部供用期間の利活用の考え方、事業アイデアの検討 など

ウ ワーキンググループでの主な意見

○理念についての考え方

- ・長期的な視点で管理運営事業体の運営における考え方の基軸としていくべきもの。
- ・「信州・伊那谷らしさ」「賑わいの創出」「地域のブランド価値向上」「可変性」「地域経済循環」がキーワードとなる。

○基本方針についての考え方

- ・開業前は地域住民の賑わいや憩いの場として、開業後はリニア利用者を含めた賑わい創出を目指す。
- ・景観への配慮、グリーンインフラや再生可能エネルギーの利活用などを通し、環境への配慮、自然との共生を図る。
- ・地場産品や伝統芸能等の地域文化を活かす。
- ・身近な「日本初・世界初」を再発見するとともに、先進的・独創的な取組を積極的に進めてその実現を目指す。

○一部供用期間の利活用の考え方

- ・広場の賑わいを創るために、一部供用開始時点からハコモノを整備するのではなく、イベントなどの開催を通じて、徐々に賑わいを創り、過度な負担をかけずにスタートする方向性が望ましい。

○賑わいを創出する方法として出されたアイデア

- ・「駐車場を活用した車等のイベント」、「キャンピングカー」、「地域行事や花火」、「飲食（キッチンカーなどの自由度がある出店環境の整備）」など。

4 今後の予定

第3回プラットフォーム会議（全体会）

- ・時期 令和7年12月17日(水) 15:30～16:30
- ・会場 ムトスプラザ3階 大会議室
- ・内容：駅前広場の一部供用開始に向けた整備状況について
ワーキンググループ（WG）での検討状況について